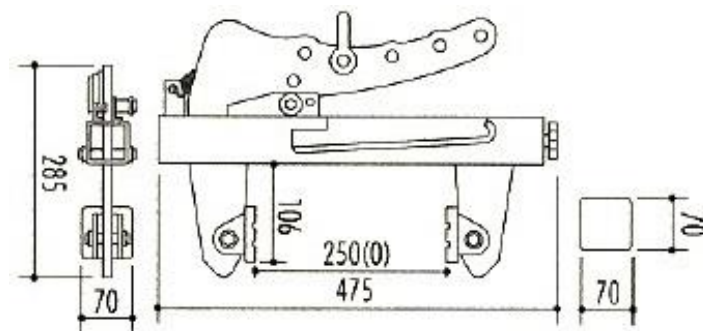


マルチバイスワニ 1000

取扱説明書



SAN・KYO

< 取扱い説明書 >

この度は(株)サンキョウ・トレーディング製品をお買い上げ頂き誠に有り難うございます。

この取扱い説明書は製品を正しく御使用頂き安全な作業を行う為に、必ずお読み下さい。内容を御理解し御使用を御願い致します。

別途添付の『取扱い注意書・警告書』も必ずお読み下さい。尚、毎作業時には本説明書を確認出来るように大切に保管して下さい。

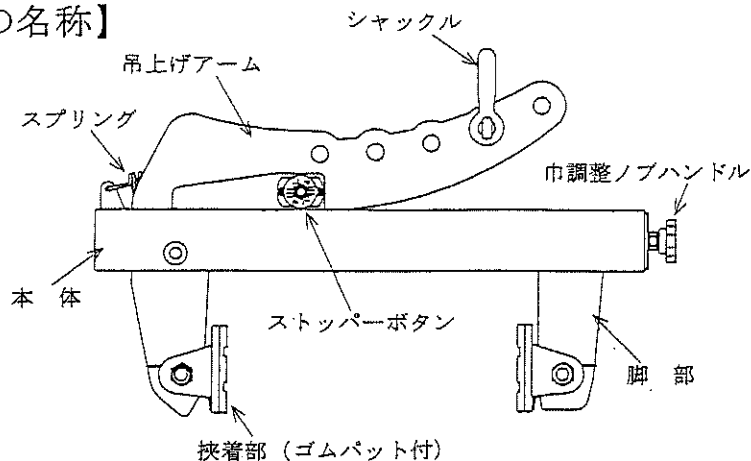
【用途】 U字溝・U字フリューム・L型コンクリート・柵板・
角柵・歩車道ブロック等

【仕様】

定格容量	1,000 kg / 2台使用時
つかみ巾	0~240 mm (無段階調整)
自重	7 kg
入数	2台 / 1セット

【使用環境の制限】 本製品の雪、雨天時の使用は厳禁!

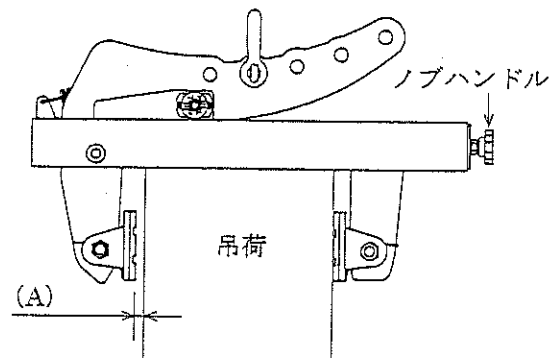
【各部品の名称】



< 使用方法 >

1. 挟着巾を設定する

ノブハンドルを回転させ吊荷との間(A)を7~10mmに設定する。



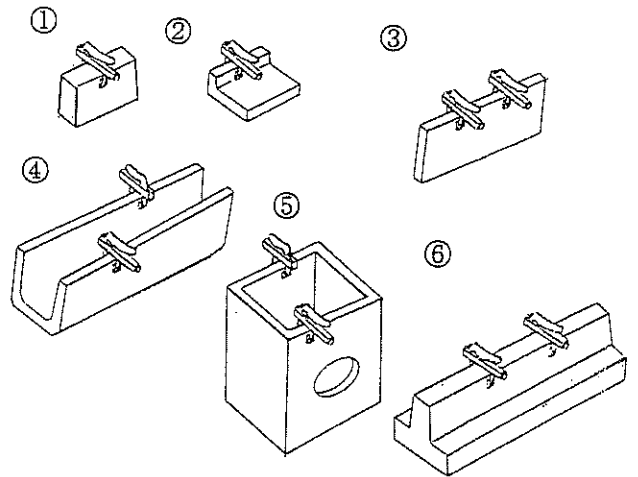
⚠ 危険 ⚠

(A) 寸法は必ず測定器具で確認して下さい
(A) 寸法の誤設定は吊荷の落下など重大事故の起因となる恐れがあり大変危険です。
設定方法を厳守して下さい。

2. 吊荷に取付ける

吊荷の形状を確認し吊具の向きを合わせて取付けて下さい。

注：吊具は①、②に表すコンクリート二次製品の場合のみ1台での使用が可能です。それ以外は全て2台/1セットでの御使用を厳守して下さい。



⚠ 危険 ⚠

取付けを誤ると吊荷の落下など重大事故の起因となる恐れがあり大変危険です。取付け向きを厳守して下さい。

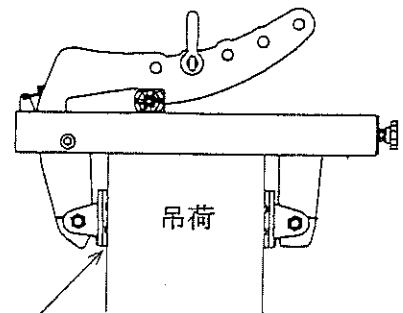
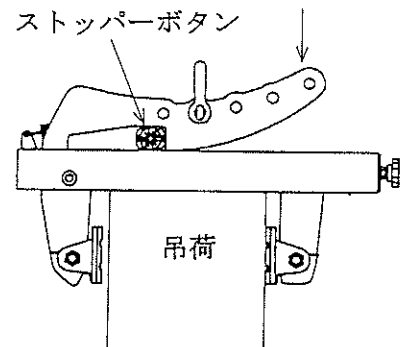
3. 仮止め状態にする

吊アームを上側から押しながらストッパーボタンを引き、吊アームを離す。
挟着部（ゴムパット）は吊荷に密着します。

注：必ず挟着部（ゴムパット）は吊荷に密着している事を確認して下さい。

⚠ 危険 ⚠

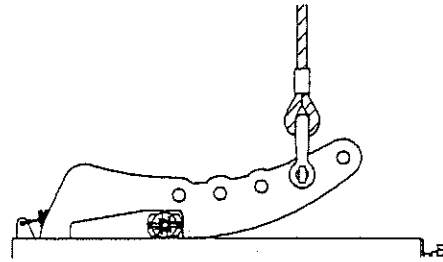
ここで仮止めをせず、そのまま吊上げ行為に移った場合、吊荷の落下など重大事故の起因となる恐れがあり大変危険です。仮止め作業を厳守して下さい。



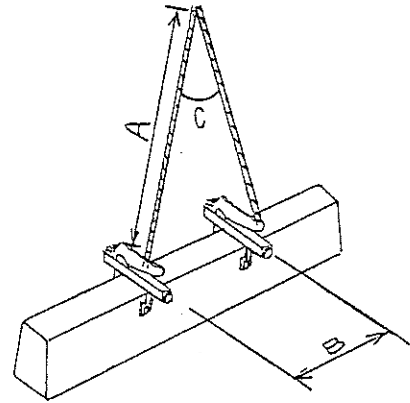
吊荷に密着している事

4. ワイヤの取付け/制限

吊上げアームのシャックルにワイヤを取付けて下さい。



注：吊ワイヤは安全使用荷重のものを御使用下さい。又、2点吊ワイヤは左右均等の長さのものを使用し、片側の長さ(A)が吊具設置巾(B)の2倍以上、(C)が30度以内になる事を確認、厳守して下さい。

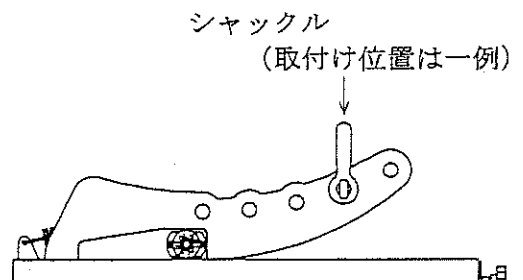


※ 摩耗、押しつぶれ等の変形があるものは使用しないで下さい。

5. 重心出しをする

荷が水平に吊上がるようにアームにある重心設定孔にシャックルを取付けます。

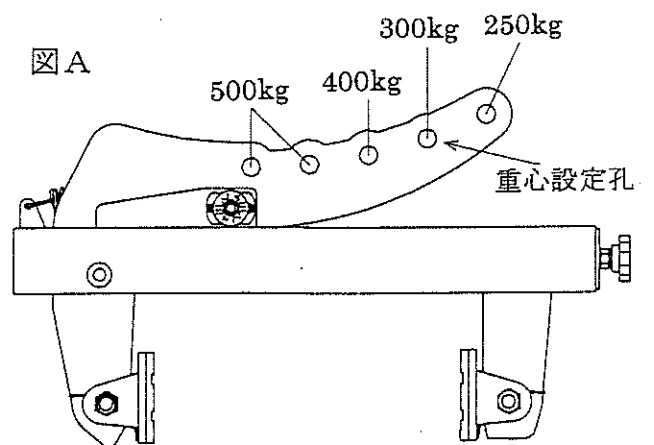
注：シャックル取付け位置により定格容量は変わります。図A 参照



※ 但し、バランス吊りは50%減となります。

⚠ 危険 ⚠

吊荷の重心出しが出来ていないまま吊上げを行うと、吊荷の落下など重大事故の起因となる恐れがあり大変危険です。重心出しは確実に行って下さい。



表示は1台の定格荷重になります。
表示の定格荷重以下でご使用ください。

6. 吊上げる

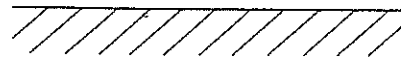
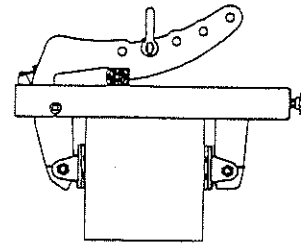
吊上げは垂直方向に行い、5～10 cm 程度吊上げたところで下記事項の確認を行って下さい。

- ① 吊荷は水平に吊上っているか
↓
- ② 吊具が斜めになっていないか
↓
- ③ ゴムパットの全面が荷に密着しているか
↓
- ④ ストッパーが解除されているか

以上確認が終わりましたら、ゆっくりと吊上げを行い敷設作業を行って下さい。

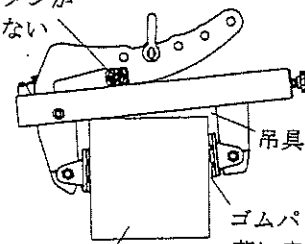
注：①～④に該当する場合は使用方法 1～5 の確認をして下さい。

(良い例)



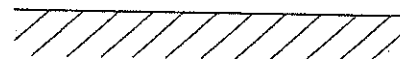
(悪い例)

ストッパーボタンが解除されていない



斜めに吊上っている

荷に密着していない



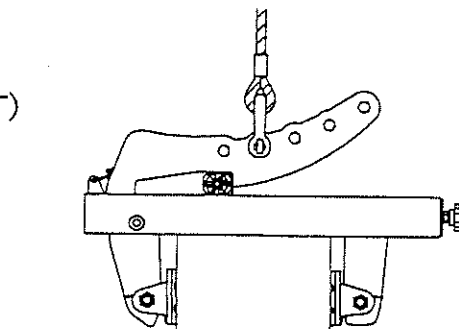
7. 吊具を取外す

吊具の取外しは必ず荷が着地した事を確認したから行います。

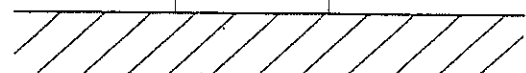
吊上げアームを上側から押さえてストッパーをかけ(カチャッと音がするまで押す)取外します。

⚠ 危険 ⚠

吊荷の着地は必ず平らな場所へ行って下さい。傾斜地、凹凸のある場所に着地させると吊荷の転倒など重大事故の起因となる恐れがあり大変危険です。上記事項を厳守して下さい。



荷が着地した事を確認

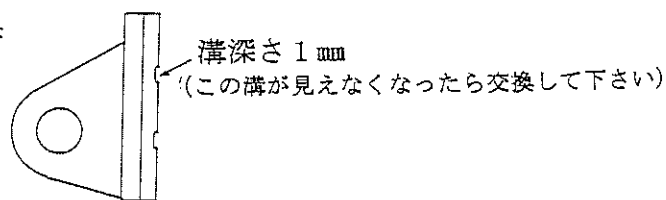


8. 保守・点検の方法

※ 吊具の保管は雨ざらし等は避け，屋根のある風通しの良い乾燥した場所に保管して下さい。

※ 御使用前後は吊具(本体)に変形，破損等がないか必ず確認を行って下さい。

※ 挟着ゴムパットは摩耗が1mmを超えたら交換して下さい。



△ 注 意 事 項 △

1. 本機は吊り上げ・敷設専用機です。埋設物の引抜き等は絶対に行わないで下さい。
2. 用途外(定格容量，形状，材質)のものには絶対に御使用しないで下さい。
3. 吊上げ作業中は絶対に荷の下に身体を入れないで下さい。又作業者は吊荷より安全な距離を確保し作業にあたって下さい。
4. 吊荷を吊り上げたままの運搬荷役機械（クレーン）の移動はブロック落下の原因となり大変危険です。絶対に行わないで下さい。
5. 吊具に変形，破損等，異常が認められる場合は，御使用を避けて下さい。メーカー又は，販売店まで御連絡頂き，修理等の処置を受けて下さい。

☒ 以上の使用方法，注意事項を確実に御守り下さい。本機欠陥以外に万一事故等が発生した場合，保証の対象となりませんのであらかじめ御了承下さい。

コンクリート製品吊具総合メーカー
SAN・KYO TRADING CO., LTD.